

羽田空港に 三条宗近の太刀が 奉られていた事を ご存知ですか？

穴守稲荷御宝剣
稲荷宗近
復元奉納プロジェクト

羽田空港に 三条宗近の太刀が奉られていた事をご存知ですか？

世界中の国から昼夜をとわず飛行機が飛交う 日本の空の玄関 羽田空港

かつて要島とよばれたその場所は 空港となるずっと前から、関東一流祠とよばれる「穴守稲荷神社」を中心とした門前町として 国内外の人で大いに賑わってありました

なかでも明治 36(1903) 年に奉納された 五辻子爵家伝来 二尺三寸五分の太刀 在銘「三条宗近」崇敬有志者からなる 200 以上の講社講元をはじめとする大行列のもと 盛大に御宝剣遷座式が執り行われ以後 御神宝として丁寧に奉られました

しかしながら昭和 20 年 9 月 羽田穴守を襲った 48 時間以内の強制退去という未曾有の混乱の中 この三条宗近の太刀は行方をくらまし あ羽田の滑走路の下に眠っているとも云われています

この失くなった宗近の太刀を偲び 現代に御宝剣として復元刀を奉納するプロジェクト
令和の崇敬有志者により 再び穴守稲荷へ御宝剣を奉納することを目指します

穴守稲荷神社

文化文政の頃 羽田浦要島（現 羽田空港）に創建 明治 19 年「穴守稲荷神社」の御社号が官許せられてより殊に隆昌し 本邦初の神社参詣電車である穴守線（現 京急空港線）の開通 鉱泉発掘や海水浴場・競馬場など聖俗糾いて殷賑を極める また、風光明媚なその景趣は東国一と讃えられると共に 社前には 46,797 基もの鳥居が奉納され 其の下に入れば雨にも濡れぬと言わしめた

然れど昭和 20 年敗戦による未曾有の紛擾の中 GHQ の命により唯 1 基の大鳥居だけを残し 全ては壊し埋め立てられ 文字通り空港の礎となった

而して未だ戦禍の跡も癒えぬ昭和 22 年 地元崇敬者有志による熱意の奉仕により旧鎮座地と一衣帯水の地に境内地七百坪が寄進され 仮社殿を復興再建

爾来崇敬者各位の協力により 社殿・神楽殿・社務所等を復興し 令和 2 年春には目出度くも奥之宮・稲荷山を竣工 漸次昔日の面影を取り戻しつつある

三条宗近と稲荷大神

山城伝 三条派の開祖 伏見の稲荷山にて稲荷大明神の化身と相槌を打った「小狐丸」の故事など 宗近と稲荷大神の御縁は深く 能の謡曲「小鍛冶」としても広く伝わっている

かねだ しちろうくにざね 刀匠 金田七郎國真

平成元年 福岡県産まれ 奈良県無形文化財保持者の無鑑査刀工 河内國平師の生き様に強い憧れを抱き入門を決意 平成 20 年 奈良県吉野郡東吉野村にある國平鍛刀場へ入門 以降 8 年間、師の内弟子として工房に住み込みで日本刀の製作法や職人としての生き方を学ぶ

平成 27 年奈良県山辺郡山添村に移住 師の工房に通いながら自身の工房の準備を進め 令和 3 年に正式に独立 國真鍛刀場を構える

2024 年度現代刀職展 特賞 1 席高松宮記念賞

2025 年度現代刀職展 太刀 特賞 4 席会長賞、短刀優秀賞を受賞

稲荷御縁年午歳

この失われた太刀を復元奉納するプロジェクト
令和の崇敬有志者により再び穴守稲荷へ御宝剣を



クラウドファンディングの
プロジェクトはこちら

https://readyfor.jp/projects/inari_mntk

神社でも御支援を受けております（この場合「純粋支援コース」となります
返礼品などの選択を希望する場合は上記サイトよりお申し込みください）



主 催：穴守稲荷御宝剣「稲荷宗近」復元奉納プロジェクト奉賛会
作 刀：金田七郎國真 刀匠（河内一門）
協 力：東京羽田 穴守稲荷神社



※上記は予定であり、変更の可能性がございます

明治 36 年 楊泰延一『穴守稲荷御宝剣遷座式行列図』（部分） 穴守稲荷神社蔵

令和7年12月15日～令和8年
2月12日(木)まで
クラウドファンディングで
御支援受付中
第1目標金額 600万円

きっかけは 一枚の浮世絵から

『穴守稲荷御宝剣遷座式行列図』

令和の始め とある崇敬者から奉納されたその錦絵は、明治の浮世絵師 楊斎延一による 大判三枚続の大作品。描かれているのは数千人からなる大行列。上部には 200 を超える全国の諸講社名が連なり、中央の御籠には千年前の 伝説の刀匠の名が記されていました。

『三条宗近』

行列図の主役たるこの太刀は、他の穴守稲荷の御神宝とは異なり、崇敬有志者一同によって奉納されたもの。すなわち、この錦絵に描かれた数千人の志を、「稲荷宗近」というひとつの形に託した

——まさに明治におけるクラウドファンディングでした——

しかし、昭和 20 年、羽田を襲った戦禍と強制退去という未曾有の混乱の中、多くの記憶や伝統とともにこの宗近の太刀は行方をくらましてしまいます。

令和 8 年午歳 12 年に一度の“お稲荷様の御縁年”

この浮世絵に描かれた壮大な行列の志を、クラウドファンディングで令和に再現。

新たに鍛える御神刀は、今なお滑走路の下に眠るさまざまな想いを、未来へ繋ぐしるべとなるでしょう。

あなたの 1 歩が、羽田穴守の歴史と誇りを甦らせる。

令和の崇敬有志者たる皆様のご支援を、心よりお待ちしております。

特製 御朱印帳

表紙絵は当社御神宝「小鍛冶宗近製刀図」の
オマージュ/裏に復元刀 木製表紙に彫刻加工

リターン品 一例

復元稲荷宗近の「影打」

作刀にあたり刀匠が複数鍛刀したうち、最も出来の良いものを「真打」として奉納、惜しくも選に漏れた「影打」を 1 名に限りお譲り致します

玉鋼の御守

製刀に用いた玉鋼を
内符とした特別な御守り

他、各種神事への参加権
など体験型のリターンも
多数ございます
詳細はプロジェクトページ
をご覧ください

https://readyfor.jp/projects/inari_mntk

稲荷御縁年午歳

かつて羽田空港にあった三条宗近の太刀を復元奉納する
穴守稲荷御宝剣「稲荷宗近」復元奉納プロジェクト
令和の崇敬有志者の手により復び穴守稲荷へ御宝剣を

プロジェクトの概要

明治時代に穴守稲荷神社に奉納され、戦禍によって消失した
三条宗近の太刀を偲び、河内一門刀匠 金田七郎國真 氏に
復元刀の作成を依頼し、復び穴守稲荷神社に奉納する。

- ◇ クラウドファンディング募集期間および金額
2025年12月15日～2026年2月12日(59日間)
募集金額:600万円
- ◇ プロジェクト完了予定 2029年6月

- ◇ 資金の用途
 - ・作刀費用 ・祭典費用 ・リターン品準備費用
 - ・クラウドファンディング手数料 ・諸経費

プロジェクトの詳しい内容については下記ページをご覧ください



クラウドファンディングの
プロジェクトはこちら

https://readyfor.jp/projects/inari_mntk



神社でも御支援を受付けております(この場合「純粋支援コース」となります
返礼品などの選択を希望する場合は上記サイトよりお申し込みください)



『穴守稲荷さんの刀のお話』
こちらからご覧になれます(無料公開)
https://anamori.jp/katana_no_ohanashi/

注: 上記の刀剣の画像は、同刀匠の既作品
より、このたび復元予定の太刀と刃文などの
近いものを参考として掲載しております